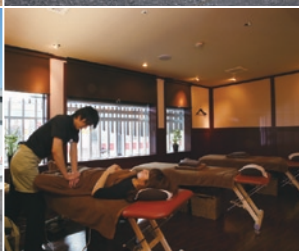




第43期 年次報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



MOBILE SPACE FRONTIER®

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第43期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、東日本大震災によ
って生産設備の毀損や福島原子力発電所の事故によ
る電力不足など生産・輸出を中心に大きく落ち込みました
が、サプライチェーンの復旧など比較的早いペースで回復
しました。その後、円高の進行や海外経済の減速の影響を
受け、足踏み状態となりましたが、設備投資の増加や雇用
改善の動きが見られるなど景気は持ち直しつつあります。

このような状況の中、当社は東日本大震災の被災地域
において、約2,000戸の応急仮設住宅を建設しました。ま

た、仮設現場事務所や店舗、庁舎など、被災地の需要増
加に優先的に対応するなど復興支援に全力で取り組んで
います。必要な時に必要なスペースを必要な設備ととも
に提供する——当社のユニットハウスは、このような有事の
際にも役に立つと確信し、被災地および日本の復興に向
け、全社一丸となって努力を続けていきます。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピ
リッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指
し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

当連結会計年度（平成23年4月1日～ 平成24年3月31日）の業績について

東日本大震災からの復興に向けて全力をあげる一方で、
ここ数年来注力してきた展示場やトランクルームの積極的
な出店も続け、当期において展示場100店舗トランクル
ーム100店舗を達成しました。出店による販路拡大とともに、
本建築市場・不動産市場の開拓にも継続して取り組みま
した。

当連結会計年度における各事業の概況について、ご報
告いたします。

ユニットハウスのレンタルにおいては、東北地域の需要
に優先的に応えとともに、2010年度に開発したエアコン
パネルの営業を強化し本格的に市場投入するなど付帯工
事の受注獲得に努めました。トランクルームにおいては、新
たに33店舗出店し、売上拡充に努めました。これらの結

果、レンタル料収入は14,888百万円となりました。

ユニットハウスの販売においては、直営の展示場を26店
舗出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、オフィス
や店舗など本建築物件の受注に注力しました。その結果、
製品売上高は14,137百万円となりました。

その他の事業については、売上高は209百万円となりま
した。

上記の結果、当連結会計年度の売上高は29,234百
万円となりました。

利益面においては、製造および施工現場での原価低減
によって、営業利益4,942百万円、経常利益4,907百万
円、当期純利益2,469百万円になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の
拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指
導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成24年6月

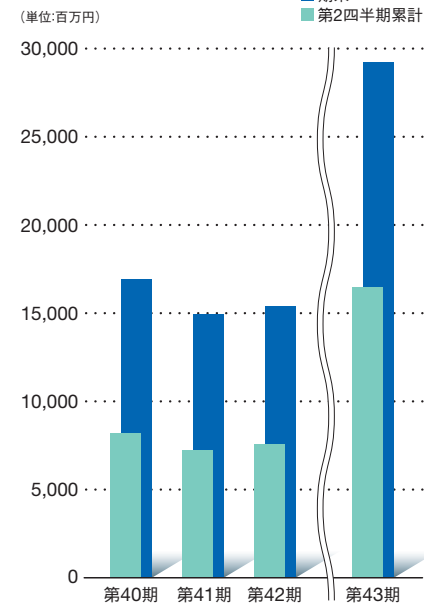
代表取締役社長 **長妻貴嗣**

業績ハイライト

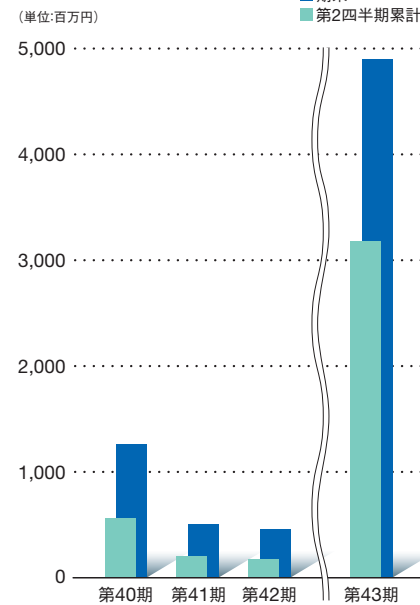
区分 \ 期別	第39期 (平成20年3月期)	第40期 (平成21年3月期)	第41期 (平成22年3月期)	第42期 (平成23年3月期)	第43期 (平成24年3月期)
売上高(百万円)	17,840	16,926	14,916	15,381	29,234
経常利益(百万円)	1,317	1,259	506	454	4,907
当期純利益(百万円)	547	674	209	170	2,469
1株当たり当期純利益(円)	24.52	30.27	9.49	7.72	111.70
総資産(百万円)	28,260	26,795	25,801	26,290	35,312
純資産(百万円)	16,266	16,611	16,555	16,531	18,717

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

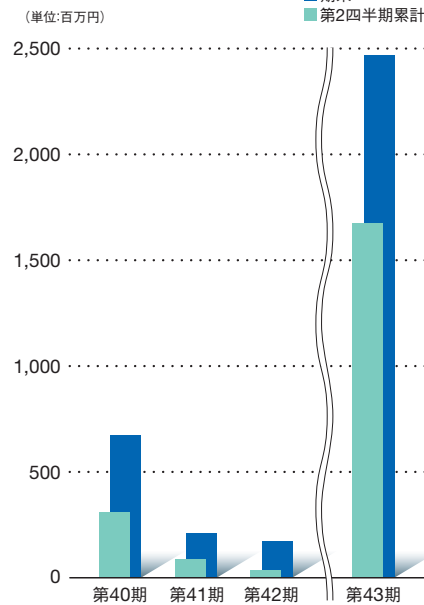
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



免責条項

本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで、
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、東北地域の震災復興需要に優先的に応えるとともに、設備などの付帯工事の獲得を強化するなど受注単価の向上に努めました。その結果、今期のレンタル料収入は14,888百万円になりました。

今後とも、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客への営業を強化していきます。



建設現場事務所



イベント施設

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き展示場の出店を推進し、販路の拡大を図りました。また、オフィスや店舗など本建築物の受注獲得に努めました。その結果、販売収入は14,137百万円となりました。

今後とも市場ニーズに合わせた製品の開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大に努めていきます。



自動車販売事務所



会社事務所

Topic 1 展示場100店舗・トランクルーム100店舗達成

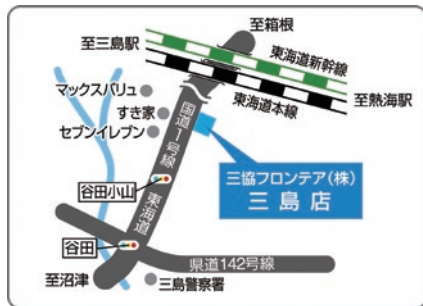
当社は、ユニットハウスを販売する展示場およびトランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国展開しています。今期は展示場・トランクルームを合わせて新たに59店舗をオープンし、展示場100店舗トランクルーム100店舗を達成しました。今期オープンした店舗の中から、三島店とU-SPACE郡山八山田店をご紹介します。

三島店

静岡県内で4店舗目のユニットハウス展示場として、三島店を2012年3月にオープンしました。

同店は、静岡県の三島市内中央、国道1号線沿いに位置し、三島市はもとより隣接する沼津市・函南町・長泉町および清水町を商圈にしています。また、伊豆縦貫自動車道の開通によってアクセスの良くなった中伊豆方面のお客様からの問い合わせも増えてきています。今後、静岡県東部の中心の店舗として幅広い地域のニーズに対応していきます。

事務所の建物は当社のユニットハウスQuoの2階建てで、FIX窓や外壁に波型スチールパネル、ルーバーパネル(横向きの木調パネル)を採用したことにより、モデルルームとしても好評をいただいています。



三島店: TEL 055-981-6651



三島店



三島店の内装

U-SPACE郡山八山田店

2011年11月にオープンしたU-SPACE郡山八山田店は、福島県郡山市で2店舗目のトランクルームです。屋外型としては県内で初めての出店になり、お客様に全55ボックスを貸し出しています。

同店は県道296号(荒井郡山線)に面し、多くの商業施設が並ぶ好立地にあります。赤い看板は買い物客や通勤者など多くの方の目にとまり、オープン前から多数の問い合わせをいただいて個人のお客様を中心に多くご利用いただいています。今後もスタッフ一同、皆様のお役に立ち愛される店舗を目指していきます。



US郡山八山田店: TEL 0120-471-383



US郡山八山田店



US郡山八山田店

Topic 2 小型植物工場「みらい畑」の学校バージョンを開発

教育用植物工場の運用モニター第1弾として、福島県富岡町小中学校に小型植物工場を設置し、理科授業や食育プログラムへの活用方法を検証しています。

2012年2月、東日本大震災で被災した福島県富岡町小中学校の仮設学校に、千葉大学と共同で1坪の小型植物工場を設置しました。この植物工場は人工光源を利用した閉鎖型施設で、外気や土壌の影響を受けることなく野菜を栽培できます。今後、レタスやサラダ菜の栽培を理科の授業や食育プログラムに活用していく予定です。また、都市近郊への植物工場の普及を目指して、学校のみにとどまらず、レストラン・ホテル・病院・老人養護施設などへ運用拡大を図ります。



小型植物工場の外観



小型植物工場の内部

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

	第43期末 (平成24年3月31日)	第42期末 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産	12,658,504	6,507,660
現金及び預金	5,337,993	1,374,253
受取手形	884,332	755,359
営業未収入金	2,621,058	1,976,834
売掛金	1,202,079	901,315
棚卸資産	1,928,738	1,077,002
繰延税金資産	303,864	76,817
その他	419,711	378,377
貸倒引当金	△ 39,274	△ 32,300
固定資産	22,653,695	19,782,655
有形固定資産	21,815,317	18,537,967
レンタル資産	11,247,041	8,572,544
建物	1,288,495	1,010,619
土地	8,169,638	8,189,748
その他	1,110,142	765,055
無形固定資産	184,664	122,394
投資その他の資産	653,713	1,122,292
資産合計	35,312,200	26,290,315

(単位:千円)

	第43期末 (平成24年3月31日)	第42期末 (平成23年3月31日)
負債の部		
流動負債	13,245,161	6,272,966
支払手形	353,927	186,292
買掛金	4,459,664	1,917,431
短期借入金	1,558,000	2,158,000
未払費用	2,075,103	1,413,391
未払法人税等	2,412,678	166,700
賞与引当金	333,053	111,600
その他	2,052,733	319,551
固定負債	3,349,740	3,485,406
長期借入金	2,504,000	2,812,000
退職給付引当金	447,774	358,720
役員退職慰労引当金	168,091	143,095
その他	229,874	171,590
負債合計	16,594,901	9,758,373
純資産の部		
株主資本	18,743,850	16,509,440
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,775,491	2,698,150
利益剰余金	14,656,166	12,579,474
自己株式	△ 233,256	△ 313,633
その他の包括利益累計額	△ 32,791	—
その他有価証券評価差額金	77	△ 949
為替換算調整勘定	△ 32,868	—
新株予約権	6,240	23,452
純資産合計	18,717,299	16,531,942
負債純資産合計	35,312,200	26,290,315

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	第42期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高	29,234,927	15,381,967
売上原価	17,741,552	9,912,043
売上総利益	11,493,375	5,469,923
販売費及び一般管理費	6,550,530	4,967,896
営業利益	4,942,845	502,027
営業外収益	78,117	64,120
営業外費用	113,384	112,084
経常利益	4,907,578	454,063
特別利益	52	22,529
特別損失	73,718	81,895
税金等調整前当期純利益	4,833,911	394,697
法人税等	2,364,494	224,339
少数株主損益調整前当期純利益	2,469,417	—
当期純利益	2,469,417	170,357

包括利益計算書

(単位:千円)

	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	2,469,417
その他の包括利益	1,456
当期包括利益	2,470,873

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,566,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 456,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,271,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	686
現金及び現金同等物の増減額	3,839,500
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,493
現金及び現金同等物の期末残高	5,157,993

連結株主資本等変動計算書(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の包括利 益累計額合計
平成23年4月1日 残高	1,545,450	2,698,150	12,600,636	△ 313,633	16,530,602	△ 949	△ 33,297	△ 34,247	23,452	16,519,807
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 110,370		△ 110,370					△ 110,370
剰余金の配当(中間配当)			△ 303,517		△ 303,517					△ 303,517
当期純利益			2,469,417		2,469,417					2,469,417
自己株式の取得				△ 351	△ 351					△ 351
自己株式の処分		77,341		80,728	158,070					158,070
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					—	1,027	429	1,456	△ 17,212	△ 15,755
連結会計年度中の変動額合計	—	77,341	2,055,529	80,377	2,213,248	1,027	429	1,456	△ 17,212	2,197,492
平成24年3月31日 残高	1,545,450	2,775,491	14,656,166	△ 233,256	18,743,850	77	△ 32,868	△ 32,791	6,240	18,717,299

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

企業の概要 (平成24年3月31日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	石原 幸夫
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号
 一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-0704-1483号

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,212人 (平成23年9月末比21名減)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	545	2.33
三協フロンテア従業員持株会	313	1.34
個人株主	305	1.31
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70

※当社は自己株式を953千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

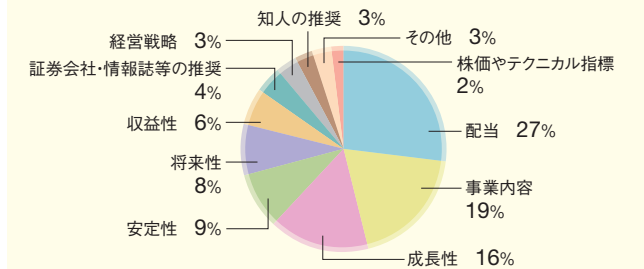
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成22年4月1日付のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場されております。

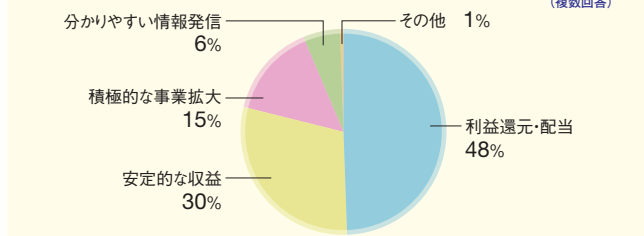
アンケート結果のご報告

「第43期 中間報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。142名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

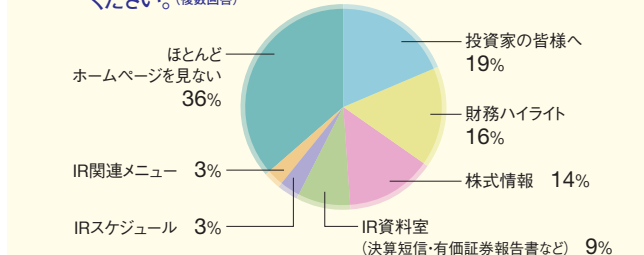
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答)



Q2 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。(複数回答)



Q3 当社ホームページのIR情報の中でよく見る内容を教えてください。(複数回答)



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>



京都事業所は、2011年9月、京都府京田辺市に新設した関西の主力センターです。

敷地面積約12,000坪という広大な敷地を有する同事業所は、レンタル出荷用整備ラインを3ライン有し、月間約800棟のハウスを出荷することが可能です。近畿地方のみならず、西は岡山、東は愛知・福井に至るまでをカバーしています。また、2012年3月には大型倉庫が完成。新規事業である空調・衛生機器付きユニットハウスの出荷に対応するための体制を整えました。

同事業所では、4S活動によって整備効率の向上や商品の適切な維持・管理など、各種改善活動に取り組んでいます。今後も社員と協力会社が一丸となり、西日本の物流の要として事業を通じて資源循環型社会への貢献に努めていきます。

※4S活動:整理、整頓、清潔、清掃を徹底する活動



京都事業所入口



整備ヤード



倉庫外観



出荷ヤード



倉庫内観

 三協フロンティア株式会社

〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地

<http://www.sankyofrontier.com/>

チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。




この報告書はFSC認証用紙を使用しています。